

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2010年8月

## ISO/TC61/SC4(燃焼挙動)分野の最近の動向

ISO/TC61/SC4 はプラスチックの燃焼挙動に係るプラスチック共通の試験方法に関する規格を担当しており、現在、5つの追補を含め27規格が発行されている。

幹事国は英国(BSI)、幹事は Mr. Michael、議長は Mr. Briggs(英)、5つの作業部会(WG)で、日本を含む20ヶ国がP-メンバーとして活動に参加している。

プラスチックは電気製品、建材、家庭用品から船舶・車両などの素材として広く用いられていることから、ISO/TC92(火災安全)、IEC/TC89(電気製品の耐火性)、CEN/TC127(建築材料の防火)、CEN/TC257(鉄道車両)、IMO(国際海事機関)など関係する分野との連携を深めており、規格の統合化も進んでいる。

本稿ではISO/TC61/SC4の最近動向及び国内ミラー委員会〔当連盟のISO/TC61/SC4委員会：吉田主査(海上技術安全研究所)、国内委員会と呼称〕の関連する活動状況の概要を記す。

### 1. WG1(着火及び燃焼の広がり)

ここでは「着火源の分類規定(ISO 10093)」、「着火温度試験(ISO 871)」、「垂直、水平燃焼特性試験(ISO 9772,9773)」、「酸素指数燃焼性試験(ISO 4589-1シリーズ)」、「燃焼の広がり試験(ISO 12992)」、「試験炎による燃焼試験(IEC 60695-11-10,-20)」の規格を担当し、現在10の規格と5つの追補が発行されている。

垂直、水平燃焼試験は、日本提案に依る改訂作業がCD段階に進捗し、着火源の分類規定の改訂準備は、日本がコンベンナーの Mr. O'Shea(米)に協力して進行している。

### 2. WG2(燃焼生成物：煙及び腐食性)

コンベンナーは現在空席であるが、ここでは「発煙性試験(ISO 5659シリーズ)」、「燃焼生成物による腐食性試験(ISO 11907シリーズ)」等の規格を担当しており、現在7つの規格が発行されている。

発煙性試験のISO 5659-2を改訂する検討がCD段階に進捗したが、ISO/TR 5659-3をTSを経由してISO化する提案は不成立となった。

### 3. WG3(燃焼発熱)

この作業部会のコンベンナーは、Mr. Grayson(英)が担当し、燃焼発熱量に関する試験方法の規格を担当している。現在、ISO 13927(簡易燃焼発熱量測定)、ISO 21367(中間規模燃焼発熱測定)の2つの規格が発行している。ISO 13927を改訂する検討はCD段階に進捗した。一方、マイクロ・カロリーメータによる燃焼発熱量の算出方法の規格開発(WD 28926)は、ASTMとの著作権の問題で、作業を中断している。

### 4. WG6(複合材の燃焼挙動)

この作業部会は、日本からの提案で2004年に「複合材の燃焼挙動」の規格制定のための新たなタ

スクグループ (TG1) として活動を開始し、2006 年に正式な WG6 となった (コンベナー : 吉田主査)。現在、発行済みのガイド規格(ISO 25762)と 2 件の開発テーマで活動している。

当初この開発テーマは、「複合材の耐火性試験方法」として日本提案で CD 30021 が承認されたが、ISO/T C92(火災安全)/SC2(火災の封じ込め)/WG10(中間規模耐火性試験)と共同開発テーマとすることになり、TC92/SC2 主導で、CD 30021 の試験方法の通則的位置付けとなる WD 834-12 と TC61/SC4 主導での FRP に関する試験方法 DIS 30021 に向けた再提案(NWIP)を取進めることになった。PLは両案件とも吉田主査が担当。

## 5. WG7(中間規模燃焼性試験)、他

この作業部会は、2006 年に中間規模試験のガイダンスを開発する新たなタスクグループ (TG2) として活動を開始し、2009 年に正式な WG7 となった (コンベナー : Mr. Wittbe ker(独))。

現在、ISO15791-1:2002(旧 WG 5(中間規模試験)担当のガイド規格)の改正テーマが承認され、CD 文書を作成中。また、新たに ISO 15791-2 とする中間規模燃焼性試験法の規格制定提案を準備している。

また、ガイダンス作業部会(WG4)は、ガイド規格 ISO 10840: 2008 の発行に伴い活動テーマが無くなったので、2008 年に活動を停止した。

## 6. JIS 規格への対応状況

国内委員会は、WG1 分野の 10 の ISO 規格全てに対応する JIS と WG2 分野での発煙性試験に対応する 2 つの JIS を制定してきた。

現在、JIS K7193 (着火温度) 改正版の発効を待っている。また、対応 ISO の無い JIS K7217 (燃焼ガスの分析方法) の内容の見直しを含む改正内容を検討している。

以上